〔様式　1〕

事 務 事 業 評 価 表

平成１４年度	主要事業計画対象の有無	無		電話	042（769）8258
担当部課名	都市部	駐車場対策	課	自動車駐車場	班
事務事業名	相模原駅自動車駐車場管理運営費			事業コード	32410

1 総合計画における位置づけ

政　策　名	Ⅲ　第　2　章	質の高い都市基盤の整備を進めます	事業開始年度
基本施策名	第　4　節	自動車・自転車駐車対策の推進	9　年度
施　策　名	第　1　施策	自動車駐車対策の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市営自動車駐車場条例・施行規則、道路法、地方自治法、駐車場法

3 事業概要

（１）事業の目的

中心市街地や、駅周辺における交通渋滞の原因になっている路上駐車の解消をすることにより、交通の円滑化を図り、市民の利便並びに都市機能の維持及び増進に寄与するため、公共駐車場の運営を行うもの。

（２）対象（誰、何）

一般公共の用に供する駐車場のため対象者を特定しない。

対象数

（３）平成13年度事業の内容

駐車場の概要
　供用開始　平成９年４月６日
　収容台数　２７０台
　構　　造　地下１階地上６階
　形　　態　連続傾床方式

平成13年10月1日より全日定期駐車を実施。
.駐車場管理運営費の内訳（決算額）
　本課分　189千円
　損害保険料　59千円
　公社委託料　65,821千円
駐車場利用台数　141,970台
駐車料金収入　66,932千円

（４）総合計画･実施計画における概要

なし

（５）個別計画の概要

計　画　名	相模原市駐車場整備計画
計画年次	年度～　昭和61　年度

将来の駐車需要を予測し、官民の適切な役割分担のもとに総合的な駐車対策を行うための駐車場整備のマスタープラン。

4 評価指標

	①	②	③
指標名	修正回転率（満車状態が何時間続いたかを示す数値）	駐車スペース１マス当りの料金収入（目標値は、駐車スペース１マス当りの管理運営費）	
指標式	（利用台数／営業日数／収容台数）×平均駐車時間	料金収入額／収容台数（２７０台）（目標値は、管理運営費／収容台数）	
指標設定の意図	管理運営費に対する修正回転率を目標に定め、運営状況を確認する。	駐車スペース1台当りの管理費と1マス当りの料金収入を比較し、運営状況を把握する。	

5 目標と実績　〔金額単位：千円〕

		平成11年度 実績	平成12年度 実績	平成13年度（評価対象年度） 実績	平成13年度（評価対象年度） 目標	平成14年度 目標
指標	①	3.1	3.0	a 2.3	b 2.5	2.7
指標	②	342.3	324.7	c 247.9	d 244.7	290.9
指標	③			e	f	
事業費	決算（予算）額	64,258	66,091	66,070	74,507	78,541
	人員・時間数	0.7人	0.7人	0.7人	0.7人	0.7人
	人件費	5,894	5,894	5,894	5,894	5,894
	その他経費	52,897	98,814	98,814	98,814	98,813
	合計	123,049	170,799	170,778	179,215	183,248
特定財源		92,426	86,381	66,932	89,000	78,541

6 個別評価

(1) 達成度･･･目標をどれだけ達成したか

評価		
B	A：達成している　(α≧100%) B：一部達成していない(100%>α≧80%) C：達成していない　(80%>α)	α＝①、②、③の平均値 ＝ 95.9%

①	②	③
a 2.3 / b 2.5 ×100= 90.4%	c 247.9 / d 244.7 ×100= 101.3%	e / f ×100=

理由：利用率の多少の落ち込みがあるため。

(2) 必要性･･･時代変化に適応した事業内容か

評価		理由：
A	A：適応している B：一部適応していない C：適応していない	将来の駐車需要を見込んだ中で駐車場を整備しており、市民ニーズに応じた、利用促進策を実施するなどしている。

(3) 経済性･効率性･･･費用対効果は妥当か

評価		理由：
A	A：妥当である B：一部妥当でない C：妥当でない	管理運営費は、駐車場使用料で賄えているため経済性は高いといえる。

(4) 事業の代替性･･･県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か

評価		理由：
A	A：代替の可能性ない B：代替の可能性低い C：代替の可能性高い	公共性が高く、都市計画駐車場として市が整備した駐車場であり代替の可能性はない。

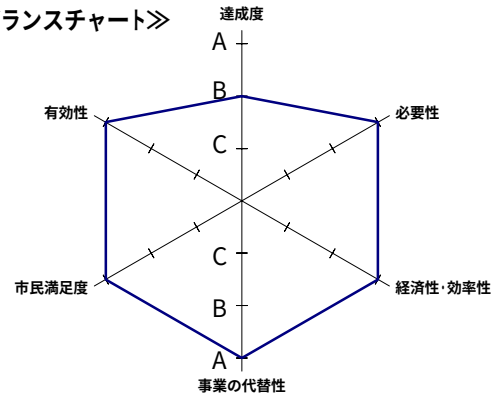
(5) 市民満足度･･･対象市民の満足は得られているか

評価		理由：
A	A：満足できる B：一部満足できない C：満足できない	将来需要に対する駐車台数は整備できている。今後、さらに、利用しやすい環境整備に努める。

(6) 有効性･･･当該事業は上位の施策を実現する上で有効か

評価		理由：
A	A：有効である B：一部有効である C：有効でない	自動車･自転車対策の推進という上位の施策の具体の事業として有効である。

≪評価バランスチャート≫



成果向上の余地

☑ ある
☐ ない

説明：利用促進を図るという面で改善の余地がある。

コスト改善余地

☑ ある
☐ ない

説明：経常的な管理運営事業なので常にコスト削減意識を持続する。

7 総合評価

評価	
	A
	★★★☆☆

今後の進め方

☐	継　続
☑	見直し
☐	廃　止
☐	完　了

他自治体の類似事業との比較

【市名】	【基本料金】		【夜間料金】
厚木市	最初30分160円	以後30分ごと150円	1,500円
藤沢市	最初1時間350円	以後30分ごと170円	1,000円
海老名市	最初1時間300円	以後30分ごと100円	1,000円
町田市	最初1時間300円	以後30分ごと150円	1,600円

説明

平成14年7月1日から、現在実施している全日定期の料金を値下げし、新たに平日定期を実施する。
また、利便性の向上を図るため、利用時間を延長する。
※全日定期　18,500円(現行22,500円)
　平日定期　15,000円
※利用時間延長　6:00～24:00(現行7:00～23:00)
※夜間料金値下げ 1,000円(現行 1,500円)

8 二次評価における変更点